

支 援

町田市教育委員会
指導課長 小池 慎一郎

中学校部活指導ボランティア（1）

昨年度末、各学校から提出していただいた学校支援ボランティアの活動分野を精査してみると、中学校は圧倒的に部活動指導（運動系・文化系）が多く、48パーセントに上っています。各中学校の部活で、ボランティアさんがどのように活動してくださっているのかぜひ見せていただきたいと思います。思い、木曽中学校へ参観に行きました。

当日は、華道部とバドミントン部でボランティアの方が指導してくださっていました。華道部では、元保護者の方が、10年程前から指導に関わってくださっているそうです。11人の部員に、文化祭に向けての草月流をベースしたオブジェ製作指導の真最中でした。ボランティアの方は「礼儀や言葉遣いを含めて、日本の文化を楽しく学んでいけたらよい。部長を中心とした運営に努め、一人ひとりの個性を伸ばしたい」とおっしゃっていました。今回製作のオブジェのテーマを部長に聞いたところ、大震災を念頭に置き「復興→絆」だそうです。全校生徒に赤い折りズルを作ってもらい、オブジェに竜のように飾り付けていました。

バドミントン部では、町田出身の男性の方が約25名の部員を指導してくださっていました。ほとんどの生徒が中学生になってからバドミントンを始めたのですが、1～2年で基本的なストロークを身に付けています。ボランティアのコーチは、今は仕事が忙しくない時期なので、週に3日くらい指導できるとおっしゃっていました。部長は「尊敬する選手はコーチです。何か賞をとってみたい」と話してくれました。

参観を終えて、中学校の部活をやっている生徒は挨拶も受け答えもきちんとできて、すがすがしい気持ちにさせてくれると思いました。校長先生も、「生徒数は多くない中学校ですが、みんながんばっています」とおっしゃっていました。

ボランティアの方が生徒の性格に応じて指導くださり、生徒との信頼関係が強いと感じました。このような部活動のボランティアさんを、今後も紹介していきたいと思っています。



若手教員 5～9 年次研修の「学習支援」分科会に出席

新任教員の研修として初任者研修がありますが、その後も 2・3 年次研修、5～9 年次研修があります。5～9 年次研修ではいくつかの小グループごとに分科会を作り、テーマを設定して研修しています。今年度、一つの分科会が「学習支援」をテーマに設定しました。指導担当者と研修生の要請により、学校支援センターから田村・岡田と、真光寺中学校のボランティアコーディネーター 2 名が出席しました。

真光寺中学校と大戸小学校の事例を元に中間発表をし、その後、分科会ごとに話し合いを持ちました。中学校での補習学習の立ち上げ方、ボランティアの確保の仕方、学習のさせ方、小学校での学習支援の様子、危機感の必要性などが話し合われました。

このようなテーマが若手中堅教員に取り上げられたことに感謝するとともに、教員も外部人材の活用がんばって取り組もうとしている意欲を感じました。



国際交流授業

今年度も、南地区の学校でハワイからの研修生を招いて、国際交流授業が行われました。当日は、1・2 時間目は成瀬台小学校 6 年生約 100 名と交流し、中休みに歩いて成瀬中央小学校へ移動して、3・4 時間目に 5・6 年生約 100 名と交流するというスケジュールでした。

昨年度、成瀬台中学校においては英語の授業という位置づけでしたが、小学校においては「総合」の国際理解教育の一環として行いました。研修生のフラダンス、ウクレレなどのハワイの文化紹介や、ハワイのじゃんけんて全員のチャンピオンを決めるゲーム、小グループに分かれての交流タイムなどが行われました。子どもたちは、ちょっと年上のハワイのお兄さんやお姉さんと楽しそうに活動していました。研修生が持参したスマートフォンの写真が、小グループでの交流で想像以上に効果を発揮していました。

成瀬中央小学校にはつくし野小学校のボランティアコーディネーターも参観に訪れ、成瀬台小学校ともども 3 校のコーディネーターが一堂に会しました。これも一つの人材の共有だと思いました。



町田版 スクールボード校の取り組み

今年度から、市内全小中学校がスクールボード校となり、各学校でさまざまな取り組みをされていることと思います。本町田東小学校では、地域の代表者でもあるスクールボード校学校支援地域理事の方々に対して、さらに学校を開き、より知ってもらうために、2年生の「昔遊び」の授業のゲストティーチャーをお願いしました。

当日は、理事の方々が手分けをして「お手玉、コマ回し、あやとり」を体育館で行いました。それとは別に、教室や体育館で教員が「おはじき、折り紙、けん玉」を指導しました。子どもたちはいつも以上に熱心に教えてもらっていたそうです。理事の方からも、「楽しかった」という感想が聞こえてきました。行事や授業の参観から一歩踏み込んだ企画だと思いました。



町田第五小学校「ふれあいサタディ 2011」

今年も、町田第五小学校の「ふれあいサタディ」が、10月22日（土）に全校行事として行われました。あいにくの雨の為、いくつかの講座は校外に出られませんでした。6年間の実績に裏付けられ、精選された32講座は充実した内容でした。

開会式で校長先生がお話されていましたが、町田市でも東京都でも地域ボランティアの方がゲストティーチャーとなって、全校縦割りで活動する行事はないと思います。全国的に考えても、おそらくないと思います。また、校内だけでなく、玉川大学、昭和薬科大学やこころ児童館、さくらんぼホール、さらには国際版画美術館など、学校から近隣、そして町田市全体へと活動場所が広がっている興味深い企画です。

運営はPTAの方々の協力を得て行い、VCは写真を撮りながら全体を見えています。「それぞれの講座に教職員を担当者として配置するので、講座数は教職員数を超えられないのが悩みです」とVCは話していました。サマースクール等は希望制ですが、この企画は授業として行っており、サマースクール等の今後のあり方を示唆していると思います。



<事務連絡>

【2011年度 MGN モデル校 導入スタート】

今年度から MGN（町田市学校支援ネットワーク）モデル校となった 10 校のうち 9 校の回線工事等が完了しましたので、各学校へ伺い、ネットワークシステム「g-asp」の操作説明をいたしました。慣れないシステムのため操作に戸惑われるかもしれませんが、「コーディネーターの活動報告」、「人材データベース（学校支援ボランティア登録者）」の共有化、「メールでの情報交換」など今後活用いただければと思います。

現在の MGN モデル校は

2009 年より（町五小・小川小・南大谷中・真光寺中）

2010 年より（南大谷小・本町田小・鶴川三小・大戸小・町田三中・南中・薬師中・小山田中）

2011 年より（町田一小・町田三小・本町田東小・南つくし野小・※鶴川二小・忠生小・小山小・小山ヶ丘小・小山中央小・相原小）

※鶴川二小は工事未完了のため、現在ネットワーク未参加です。

【まなびアンテナ 2011 年秋号 の送付について】

多摩地区の学校支援のコーディネーターが作成している学びアンテナの 2011 年秋号を、各校コーディネーター宛に送付いたしました。今回で 2 冊目となり、町田市学校支援センターも関わっております。

今回は、特に、企業や NPO の「食育」や「体験授業」の情報が満載です。最後のページに、FAX 申し込み・問い合わせ用紙がありますのでご活用ください。各校のボランティアコーディネーター、教職員で回覧くださり、情報を共有していただければと思います。

【活動中のけがにご注意を】

昨年度は 1 件もなかった活動中のボランティアコーディネーターと学生ボランティアの事故が、10 月にありました。両方とも、ボランティアコーディネーター保険と町田市のボランティア保険の適用事故でした。

コーディネーターがスズメバチに刺された事故は不可抗力ですが、学生ボランティアの事故は若くからといってすぐに体を動かすのではなく、準備運動を行えば防げたかもしれません。せっかくボランティアとして活動してくださっている皆さんに怪我のないよう、今後も事前に一声かけて怪我を防ぐ努力をよろしくお願いします。

【感謝状贈呈式 2012 年 2 月 20 日(月)】

今年度の感謝状贈呈式は、来年 2 月 20 日(月)の午後に予定しております。実践発表校の依頼等、少しずつ準備を始めています。ボランティアコーディネーターの皆様にもぜひ参加していただきたいと思っておりますので、今からご予約をしておいてください。出欠連絡等は年が明けてから提出していただく予定です。よろしくお願いします。

【学生ボランティアについて】

10 月に入って、学生ボランティアの要望が多く寄せられています。前期に活動していた学生の時間割が後期になって変わり出来なくなったり、新たに学生ボランティアが必要になったりなどの理由によるものです。学校支援センターとしましても、迅速な紹介に努めてきましたが、どうしても学生数に限りがあるため、再度、3 大学に登録用紙を送付し、新たな学生の確保に向けて取り組んでいます。今しばらくお待ちいただくとともに、後期になって活動出来なくなった学生の「今後の意思確認・変更になった活動可能日」を調べ新たに紹介したいと思っておりますので、このような学生がおりましたら、学校支援センターにご連絡ください。